



見方を変えれば、感じ方が変わり、行動が変わる

校長 羽田野庸史

朝や夜の寒さは身にしみるものの、日だまりの暖かさに春の到来を感じます。令和元年度も最後の月を迎えましたが、新型コロナウイルスの感染が広がりを見せています。2月 17 日には、厚生労働省から、発熱等の風邪症状が見られるときは、学校を休み、外出を控えるとともに、以下のいずれかにあたる人は、帰国者・接触者相談センターに相談するように相談・受診の目安が示されました。

- ・風邪の症状や 37.5 度以上の発熱が4日以上続く人
- ・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある人

今後、学校の諸活動にも影響が出ることも想定されますが、正しく恐れて感染を防ぎましょう。

さて、同じ事象に出会っても、その見方は人それぞれですし、その感じ方も様々です。水が半分入っているコップを見て、「水がコップに半分も残っている」と見る人と「水がコップに半分しか残っていない」と見る人、「コップに水があるだけで有り難い」と見る人とでは、その感じ方は全く違います。社会学者の P.F.ドラッカー氏によると、「『水が半分も残っている』と『水が半分しか残っていない』とは、量的には同じですが、意味は全く違うし、その後取るべき行動も違って来る。」と言っています。実際、人は、受け手として物事をどのようにでも解釈することができます。受け手の感受性というのは、その人の生き方に大きな影響を及ぼしています。ある事象が発生したとき、それをマイナスとして受け取る人と、プラスに受け取る人がいます。そのように受け手次第で、物事は全く違った捉え方ができます。このマイナスの見方を常にしている人とプラスの見方を常にしている人とでは、人生の豊かさが全く違ってきます。マイナスの見方ばかりしている人は、周囲の友達にも何となく信用がおけないでしょうし、自分にとって嫌なことばかり起こっているように感じるでしょう。しかし、プラスの見方をしている人は、良い友達に囲まれているように感じ、自分にとっていいことが起こっているように感じる人が多いでしょう。それが、結局、その人の人生を豊かにすることにつながります。このマイナスの見方をプラスの見方に変えることで、自分の人生がよりよく、豊かになっていくに違いありません。

この3月に卒業する6年生には、ぜひ豊かな人生を歩んでほしいと思います。3月3日(火)には、6年生を送る会が開かれます。1年生から5年生が感謝の気持ちを込めて、歌を歌ったり言葉を贈ったりします。そして、その時に6年生から今年度のオリジナル・ソング「Happy End」が初めてお披露目されます。6年生が在校生全員に対して見せる最後の晴れ姿です。そして、24 日(火)の卒業式には、5年生が在校生代表として出席します。卒業生から東町小の最高学年のバトンを譲り受ける場でもあります。

25 日(水)は1～5年生の修了式です。一日一日を大切にしっかりとそれぞれの学年のまとめと次の学年への準備をしていきます。

最後になりましたが、一年間、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。
(※本文は、2月 21 日現在の内容であることをご了承ください。)

3月 行事予定

日	曜	行 事 等	放課後 遊び
1	日		
2	月	委員会活動 安全指導日	5～6
3	火	6年生を送る会 保護者会(6年・6校時)	3～5
4	水	おひなまつりの会	なし
5	木	学びの森・あい保育園交流(1年生) 社会科見学(6年生)	3～6
6	金		4～6
7	土	ファミリー遊び 日本文化の時間	なし
8	日		
9	月	クラブ活動 パラリンピク体験授業(5年生)	4～6
10	火	保護者会(1～5年・6校時)	6
11	水		なし
12	木	児童集会(放送)	3～6
13	金		4～6
14	土		
15	日		
16	月		4～6
17	火	PTA総会(15～16時)	3～6
18	水		なし
19	木		3～6
20	金	春分の日	
21	土		
22	日		
23	月	給食終了	なし
24	火	卒業式(10:00～)	なし
25	水	修了式	なし
26	木	春季休業日開始	
27	金		
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		

※3月中に一度、避難訓練を行います。「予告なし」のため、行事予定には、記載していません。

お知らせ

*避難訓練について

今年度最後の避難訓練です。今回は「予告なし」の避難訓練を行います。これまで行ってきた避難訓練での学びを生かし、子供たち自身で災害時にどのような行動をとればよいのかについて考える場にしたいと思います。

*人権の日について

3月の人権の日は13日(金)です。給食はハンガリーの料理でグヤーシュです。

*卒業式について

3月24日(火)に卒業式が行われます。在校生代表として5年生が出席します。1年生から4年生は、休業日となります。

*修了式について

3月25日(水)に1年生から5年生の修了式が行われます。この日は、通知表を渡します。一年の子供たちの頑張りを一緒に確認してあげてください。6年生は、お休みです。

*校庭開放について

14日(土) 10:00～12:00 13:00～16:00

生活指導

生活指導主幹 高橋基樹

3月の生活目標

「一年間のまとめをしよう」

早いもので、一年のまとめの月になりました。学習だけでなく生活についても振り返ることは、成長にとって大事なことです。「登校時間は守れたか」、「忘れ物はなかったか」など、日常生活についても振り返りをして、できていることは続けられるように、十分でなかったことは来年度の重点目標にするなど、一年間の振り返りをしましょう。また、自分の使っていた机や椅子などきれいにして、新しい気持ちで新年度を迎えられるように準備をお願いします。

International Assembly を終えて

国際科担当 小林恵里花
岡島 黎於

2/18(火)に International Assembly を行いました。国際科の授業の時間に練習した成果を存分に発揮し、どの学年も工夫をこらした素晴らしい発表ができました。

ESC の児童が日本人の児童に振り付けや発音を教えている姿が見られ、これも本校ならではの光景だと感じました。

3 年生 「Super Market Secrets」



社会科見学で行ったスーパーマーケットの秘密を英語で表現しました。

5 年生 「Good Time」



自分が思う Good Time をテーマに一人一人が台詞を考えました。

2 年生 「Can you tell me how to get to Higashimachi?」



自転車やロケットなどいろいろな乗り物での東町小への行き方を歌と一緒に表しました。

4 年生 「Three Little Pigs」



「3匹の子豚」を子豚グループと狼グループに分かれて、チャンツで演じました。

6 年生 「Urashima Taro」



誰もが知っている「浦島太郎」を英語の劇で分かりやすく表現しました。

全員合唱 「Let's sing Do-Re-Mi!」



最後にみんなで英語でドレミの歌を歌いました。

1 年生は、インフルエンザによる欠席が多かったため、発表・参観ともに行いませんでした。後日、朝会時等を利用して発表の場を設ける予定です。

頼もしい1年生へ

1年1組 鹿島 直子

1年2組 野島 美砂

1年3組 宮澤 修平

大きなピカピカのランドセルを背負っていた「小さな1年生」から、学習も遊びも何事にも全力で取り組む「頼もしい1年生」へと大きな成長を感じさせてくれた子供たち。保育園児との交流会を前に、4月と比べてできるようになったことを聞いてみると、「ひらがな・かたかな・かん字も書けるようになったよ。」「給食をたくさん食べられるようになったよ。」「鍵盤ハーモニカが上手になったよ。」など、自信にあふれた表情で話してくれました。そして、一人一人が交流会に向けて、どんな出し物にしたら保育園児のみんなに学校のことを知ってもらえるか、楽しんでもらえるかを一生懸命考えています。「名前の書き方を教えてあげよう。」「音読の仕方を教えてあげよう。」「鍵盤ハーモニカの指を押さえる体験をしてもらおう。」など、保育園児でも簡単にできそうなことを出し合っていました。

こうした園児を迎える準備をする中で、これまで上級生に優しく教えてもらっていたことに気付き、「次は自分たちの番!」と張り切っています。そんな頼もしい姿に、この一年の成長が詰まっていると感じました。いよいよ1年生もあと一か月、自信をもって2年生のスタートができるようにまとめをしていきたいと思います。



卒業に向けて

6年1組 栗原 建二

6年2組 黒川 洋

今年度の6年生の学年目標は、「Scrum(スクラム)」でした。「Scrum(スクラム)」の意味は、「全員が一丸となること。一致団結すること。」です。「最高学年としての自覚をもち、何事にも意欲をもって取り組み、自分たちの成長を実感できるようになってほしい」「東町小のリーダーとして、積極的に行動し、学校や下学年を様々な場面で支えることができるようになってほしい」という願いを込めて、この目標を設定しました。

平成31年度が始まって4月。1年生の世話を進んでするなど、「最高学年として頑張ろう」と何事にも意欲的に活動する児童がいる一方、正直、最高学年としての自覚がなかなかもてずいた児童もいました。そのため、学年としてのまとまりは、必ずしも十分とは言えませんでした。5月に行われた運動会の練習でも、なかなか学年としてまとまった練習とはいかず、叱咤激励される場面も少なからずありました。

しかし、その後の数々の行事、委員会活動やクラブ活動、ファミリー活動などにおいて、最高学年としてよりよい活動にするにはどうすればよいか考え、徐々に行動に移すことができるようになってきました。その中で、成功や失敗を繰り返しながら、「Scrum」のもつ意味を実感してきたようです。

卒業まで残り僅かとなりました。残り少ない日々を大切に、仲間とともに価値のあるものにしてほしいと思います。そして、中学校で新しい仲間とScrumを組むべく、希望をもって小学校を巣立って行ってほしいと思います。